

リー・シルバーマン療法

Lee Silverman Voice Treatment

LSVT®BIG



パーキンソン病患者さんに対する
新しいリハビリプログラム

最近

こんなことに困ってないですか？

- 歩幅が小さくなったと言われる
- 立ち上がって最初の一歩がなかなか出ない
- ボタンを留めるのに時間がかかる
- 自分の書いた文字が小さくて読みづらい
- パーキンソン病の診断を受けたが、どのような運動をしたらよいのかわからない

LSVT®BIGとは・・・ エルエスブイティイー・ビッグ



2005年にパーキンソン病患者さんの
運動障害を改善することをコンセプトとして開発された
運動療法プログラムです

パーキンソン病の軽度～中等度の方に対して
特に効果的であり、短期的には高い治療効果が
期待できることが報告されています

パーキンソン病の主な症状

手の震え
(安静時振戦)

筋肉が硬くなる
(固縮)

姿勢の
不安定性

動きの遅さ
(動作緩慢)

動作の大きさの低下
(運動機能低下)

LSVT®BIGは、動きの遅さと動作の大きさの低下を
治療のターゲットとしています



LSVT®BIGの特徴



LSVT®BIG認定セラピストとの1対1の個別訓練を
1回60分、週4回連続、4週間にわたって実施する

「動作の大きさ」のみに注意を向け
高い努力と集中的な訓練により運動機能を改善する

LSVT®BIGの考え方



自己知覚／認識における問題
動きが小さい、または遅いと
認識していない

動作に対する
身体への
指示／注意の障害
小さな動作を
正常と感じる

ゆっくりとした
小さい動き



運動出力の
大きさが減少 ↓ ↓

正常な大きさの動きを
するために必要な大きさを
自己知覚／認識する能力の改善

動作に対する
身体への
指示／注意を改善
適切な動作の
大きさの把握

より大きな
動きを生む



運動出力の
大きさが増加 ↑ ↑

LSVT®BIGの内容

(1回60分、週4回連続、4週間実施)

最大日常課題

多方向ストレッチ・多方向運動
身体全体を大きく使った運動

機能的要素課題

馴染みのある日常生活動作を
繰り返し練習する

大きな歩行法

大きな腕の振りと歩幅を
意識した歩行練習

階層的課題

複雑な日常生活動作を
繰り返し練習する

LSVT®BIGの最終目標は

日常生活で大きな動作が行えるようになること!

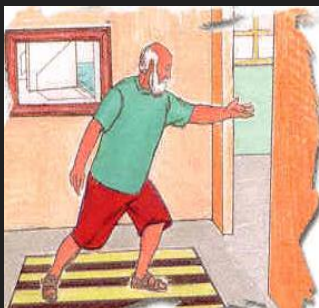
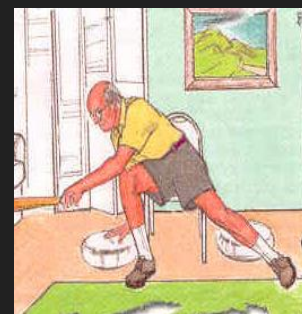
注意事項



- LSVT®BIGは週4回、4週間の訓練を行う必要があります、当院の場合は通院が必要となりますので、必ず交通手段の確保をお願いします
- 訓練期間中は、毎日の課題が義務付けられますので、何より本人の強い意志が必要となります
- 大きな動きで訓練を行いますので、関節痛や筋肉痛などの症状を伴うことがあります
- 一旦プログラムを開始されても、患者さんの意思により途中でやめることも出来ます

4週間の訓練を終えた人の感想

LSVTは楽しかった。全然違う。
(大きく) 意識すれば足がすくまなくなった。



大きく歩けるようになったとほんとに思う。
体力もついた。

前かがみのせいで換気扇のスイッチに手が届か
なかったのが届くようになった！



まずは お気軽にお問い合わせください

- LSVT®BIGを受けてみたい、説明だけでも聞きたいという方は、当院までご連絡ください
- 訓練時間は相談可能です。お仕事のある方は夕方（17時）からでもご予約可能です。
- 費用は通常のリハビリテーション料金と同じです。
- LSVT®BIGは、パーキンソン病に特化した新しいリハビリプログラムです。ぜひご検討ください！

さくま内科・脳神経内科クリニック

TEL：0859-30-2000 担当：秦（はた）まで

